



脳卒中・神経脊椎センター

令和7年度 病院経営方針

“for the NEXT”

横浜市立病院中期経営プラン2023-2027 の計画期間における基本戦略

- 「超急性期から回復期まで、安全で質の高い専門医療を同一施設内で一貫・連続して提供する」という開設コンセプトを堅持しつつ、公立病院としての新たな価値を創造し、市民の健康寿命延伸に貢献します。
- 「地域に根差す公立病院」として、地域包括ケアシステムにおける市民の生活を高度な専門医療によって支えます。
- 新規入院患者数の増加による増収を図るとともに、デジタル技術の活用等によって業務のあり方を根底から見直し、経営における自立性・持続可能性の向上を図ります。

**病院価値の向上・
新たな価値の創造**

“for the NEXT”



**患者本位
の医療**

地域に根差す

地域との繋がり・連携強化

人的資本経営

人材戦略と経営戦略の連動

**生産性の向上
(増収・費用抑制)**

病院の総合品質向上と
利益・資金との好循環

病院総合品質の向上

医療の質管理室

DX推進

病院DX推進基本方針
DX推進室の設置

1 病院価値の向上・新たな価値の創造①

“for the NEXT”



- 時間を問わず発症する脳卒中に対し、24時間体制で超急性期専門治療を提供することで脳へのダメージを最小にし、さらに専門性の高いリハビリテーションをシームレスに提供することで、社会復帰率や家庭復帰率を最大限にまで高めます。
- 市内における脳卒中救急について、体制構築を含め中心的な役割を果たします。

1 病院価値の向上・新たな価値の創造②

“for the NEXT”



- 市民の健康寿命延伸に向け、脳卒中救急、運動器の健康づくり、心臓リハビリテーション、認知症への対応等に引き続き取り組みます。
 - ▶ PSC(一次脳卒中センター)コア施設としての役割の発揮
 - ▶ 高度な治療による運動器疾患の健康づくり
 - ▶ ロコモ・フレイル対応
 - ▶ MCI・認知症センターの始動
- 神経難病患者については、診断や一時受入れなど地域で必要となるあらゆる専門的対応に先導的に取り組むことで、専門医療の旗手として市立病院のプレゼンスを発揮します。

2 医療の質・安全性、患者サービスの向上 *for the NEXT*



- 「医療の質管理室」を中心に医療安全、感染管理の取組を推進します。
 - ▶ 新興・再興感染症の拡大に備え、人材確保・育成など院内感染対策の充実を図るとともに、引き続き柔軟な診療・ケア体制及び病床運営によって感染症患者の受入れに対応します。
- デジタル技術の活用による患者の安全性・QOLの向上を目指します。
 - ▶ 遠隔ICUを活用し、集中治療医療の更なる充実を図ります。
- 血管撮影装置を更新し、良質で安全な脳血管内治療を提供します。

3 地域に根差す

for the NEXT



- 他の医療機関や訪問看護ステーション、介護施設・事業者等と幅広くかつ緊密に連携しながら地域における市民の生活を積極的に支援します。
- サブアキュート患者・ポストアキュート患者を引き続き積極的に受け入れます（地域包括ケアシステムの推進）。
- ホームページ・広報印刷物や講演会などの媒体を駆使して市民に対する医療知識の普及・啓発活動を推進します。
- 専門医資格の取得支援、医学部等実習生の受入れのほか、区などとも連携し、研修や意見交換会等の実施を通じて地域医療・介護人材の育成に努めます。



4 人的資本経営

for the NEXT



- 個々の職員の能力やスキルをより重視し、経営戦略に連動した人材戦略に基づいて経営幹部が積極的に関与しながら人材の確保・育成に当たります。
- 部門・職種別の人材確保・育成計画に基づき、その達成度や病院が求める資格取得の状況等を適切に評価することで職員の意欲を引き出し、組織の活性化に繋がります。
- 病院の特長を活かした研究・教育の取組を進めます。
- 多職種連携、組織横断的な改善活動等を通じて、職員が相互に協力しながら諸課題の解決を図る文化を醸成します。
- 職員相互の意見交換・コミュニケーションの活性化を図ります。

- 病院DX推進基本方針に基づき整備した「DX推進室」が中心となって、具体的な戦略及びロードマップを推進します。
- 全職員が、必要に応じて院内の情報に迅速にアクセスし共有できる仕組みを構築します。
- 業務内容・プロセス及びその担い手等を徹底的に見直すことで職員の業務負担軽減を図り、時間と財源を捻出します。
 - ▶ 入力・調整作業等の省力化・ゼロ化
 - ▶ 多様なコミュニケーション手法の活用により組織全体の情報共有・意思決定速度を迅速化
 - ▶ ペーパーレスの推進

6 利益率向上(増収・費用抑制)①

for the NEXT



- 24時間365日「断らない救急」を徹底し、より高度な治療を要する患者を可能な限り受け入れます。
- 紹介に基づく、あるいは外来からの新規入院患者を増加させ、予定入院・予定手術の対象となる患者の割合を高めることで安定的な収益確保を目指します。
- 入退院支援及び病床管理を強化します。



6 利益率向上(増収・費用抑制)②

“for the NEXT”



- 変動費である医薬材料費について、在庫管理の徹底及び使用効率の向上によって一定水準に抑制します。
- 業務の再構築により、特に間接業務コストの削減を図ります。
- 広報のあり方を見直し、ホームページ等による病院情報の発信強化を図ります（ブランド力の向上）。
また、寄附の受入を積極的に進めます。

1 脳血管疾患医療

- ・ 働き方改革を推進しつつ、「断らない救急」の徹底により救急車搬送患者数2,000件以上の水準を維持
- ・ P S Cコア施設として24時間365日ハイブリッド治療に対応

2 神経疾患医療

- ・ 神経難病を含む要介護高齢者の救急対応や調整入院を積極的に行い、地域医療を牽引
- ・ 要介護前段階のフレイルへの介入として、高齢者の慢性めまいやめまい平衡障害等に対するめまい診療を推進

3 認知症医療

- ・ MCI・認知症センターの立ち上げ
- ・ もの忘れ外来・もの忘れドックによる認知症初期症状の早期発見、診断及び助言を継続

4 脊椎脊髄疾患医療

- ・ 脊柱管狭窄症、頸椎・腰椎椎間板ヘルニア、成人脊柱変形、側弯症、骨粗鬆症などに対する幅広い治療を継続
- ・ 脊椎固定術、脊椎側弯症手術、椎間板摘出術等の実施件数を維持

5 膝関節疾患医療

- ・ 手術支援ロボットの活用等により人工関節置換術の実施件数を増加

6 リハビリテーション医療

- ・ 回復期リハビリテーション病棟における1日当たり患者数100人（うちリハビリテーション科で85人）の実現

7 循環器疾患医療

- ・ 心臓リハビリテーションの充実

8 麻酔科

- ・ 手術実施体制の強化
- ・ I C U 管理料 5 の体制維持

9 放射線科

- ・ 医師の人材確保・育成
- ・ A I 画像診断支援システム導入を引き続き検討

病院全体の主な経営目標



区 分	R07 目標①	R06			対R06実績 ①－③	対R06目標 ①－②
		実績③	目標②	③－②		
新 入 院 患 者 数 (人)	3,154	2,970	3,030	△ 60	184	124
延 入 院 患 者 数 (人) (1 日 平 均 患 者 数)	100,010 (274.0)	91,989 (252.0)	98,185 (269.0)	△ 6,196 (△ 17.0)	8,021 (22.0)	1,825 (5.0)
病 床 稼 働 率 (%)	91.3	84.0	89.7	△ 5.7	7.3	1.7
入 院 診 療 稼 動 額 (百万円)	6,416	5,770	6,204	△ 434	646	212
入 院 診 療 単 価 (円)	64,153	62,725	63,190	△ 464	1,428	964
手 術 件 数 (件) (手 術 室 ・ 血 管 撮 影 室)	981	971	980	△ 9	10	1
平 均 在 院 日 数 (日)	30.5	30.9	32.4	△ 1.5	△ 0.4	△ 1.9
診 療 日 数 (日)	365	365	365	—	—	—

※手術件数は、入院患者に対し手術室及び血管撮影室で実施するものを対象としています。

診療科別の経営目標

(1) 脳神経内科・総合診療科



区 分		R07 目標①	R06			対R06実績 ①－③	対R06目標 ①－②
			実績③	目標②	③－②		
総脳 合神 経 診 内 療 科 ・ 科	新 入 院 患 者 数 (人)	1,351	1,341	1,349	△ 8	10	2
	延 入 院 患 者 数 (人) (1日平均患者数)	30,660 (84.0)	27,579 (75.6)	28,105 (77.0)	△ 526 (△ 1.4)	3,081 (8.4)	2,555 (7.0)
	入 院 診 療 稼 働 額 (百万円)	1,610	1,440	1,391	49	170	218
	入 院 診 療 単 価 (円)	52,500	52,217	49,500	2,717	283	3,000
	手 術 件 数 (件) (手術室・血管撮影室)	61	63	55	8	△ 2	6

※手術件数は、入院患者に対し手術室及び血管撮影室で実施するものを対象としています。

診療科別の経営目標

(2) 循環器内科



区 分		R07 目標①	R06			対R06実績 ①－③	対R06目標 ①－②
			実績③	目標②	③－②		
循 環 器 内 科	新 入 院 患 者 数 (人)	88	77	84	△ 7	11	4
	延 入 院 患 者 数 (人) (1 日 平 均 患 者 数)	2,800 (7.7)	2,778 (7.6)	4,745 (13.0)	△ 1,967 (△ 5.4)	22 (0.1)	△ 1,945 (△ 5.3)
	入 院 診 療 稼 働 額 (百万円)	109	106	214	△ 107	3	△ 104
	入 院 診 療 単 価 (円)	39,000	38,270	45,000	△ 6,730	730	△ 6,000

診療科別の経営目標

(3) 脳神経外科



区 分		R07 目標①	R06			対R06実績 ①－③	対R06目標 ①－②
			実績③	目標②	③－②		
脳 神 経 外 科	新 入 院 患 者 数 (人)	572	536	513	23	36	59
	延 入 院 患 者 数 (人) (1 日 平 均 患 者 数)	12,410 (34.0)	11,495 (31.5)	12,045 (33.0)	△ 550 (△ 1.5)	915 (2.5)	365 (1.0)
	入 院 診 療 稼 働 額 (百万円)	943	828	909	△ 82	115	34
	入 院 診 療 単 価 (円)	76,000	72,018	75,500	△ 3,482	3,982	500
	手 術 件 数 (件) (手 術 室 ・ 血 管 撮 影 室)	260	254	300	△ 46	6	△ 40

※手術件数は、入院患者に対し手術室及び血管撮影室で実施するものを対象としています。

診療科別の経営目標

(4) 整形外科



区 分		R07 目標①	R06			対R06実績 ①－③	対R06目標 ①－②
			実績③	目標②	③－②		
整 形 外 科	新 入 院 患 者 数 (人)	899	871	861	10	28	38
	延 入 院 患 者 数 (人) (1 日 平 均 患 者 数)	22,995 (63.0)	20,867 (57.2)	21,900 (60.0)	△ 1,033 (△ 2.8)	2,128 (5.8)	1,095 (3.0)
	入 院 診 療 稼 働 額 (百万円)	2,311	2,057	2,190	△ 133	254	121
	入 院 診 療 単 価 (円)	100,500	98,572	100,000	△ 1,428	1,928	500
	手 術 件 数 (件) (手 術 室 ・ 血 管 撮 影 室)	660	654	625	29	6	35

※手術件数は、入院患者に対し手術室及び血管撮影室で実施するものを対象としています。

診療科別の経営目標

(5) リハビリテーション科



区 分		R07 目標①	R06			対R06実績 ①－③	対R06目標 ①－②
			実績③	目標②	③－②		
テ リ ハ ビ リ コ リ	延 入 院 患 者 数 (人) (1 日 平 均 患 者 数)	31,025 (85.0)	28,905 (79.2)	31,025 (85.0)	△ 2,120 (△ 5.8)	2,120 (5.8)	— (—)
	入 院 診 療 稼 働 額 (百万円)	1,443	1,329	1,489	△ 160	114	△ 47
	入 院 診 療 単 価 (円)	46,500	45,971	48,000	△ 2,029	529	△ 1,500

“for the NEXT”



脳卒中・神経脊椎センター